

指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和5年度			
施設名	船川港金川多目的広場(OGAマリンパーク)	設置年	平成	5 年
所在地	男鹿市船川港船川字海岸通り1号			
指定管理者	男鹿市			
県所管課	港湾空港課 調整・クルーズ・空港 チーム			

1 施設の概要

設置目的	スポーツ・レクリエーションの場として利用増進を図り、もってゆとりある県民生活の実現に寄与するため。						
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標						
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための取組として施設に求められているもの						
施設の面積	125,000m2						
主な設置施設	球技場、管理棟、芝生広場、駐車場						
指定管理業務の内容	料金制	有（完全利用料金制）					
	料金設定	入場料を徴収しない場合 ・アマチュアスポーツ：1時間 一般330円、高校生以下無料 1日 一般2,640円、高校生以下無料 ・その他催事：1時間3,300円、1日26,400円					
		入場料を徴収する場合 ・アマチュアスポーツ：1時間 一般660円、高校生以下無料 1日 一般5,280円、高校生以下無料 ・その他催事：1時間6,600円、1日52,800円					
	サウンディング実施対象施設※		×				
	指定期間	R6.4.1		～	R11.3.31		
	営業期間・時間	8:00～18:00(4月20日から10月31日まで)					
	・使用の許可、取消等の業務 ・維持管理に関する業務 ・利用促進に関する業務						
自主事業の内容	・使用の許可、取消等の業務 ・維持管理に関する業務 ・利用促進に関する業務						
直近3年の年間利用者数		R3	6,547 人	R4	16,086 人	R5	35,582 人
直近3年の年間利用収入		R3	4 千円	R4	9 千円	R5	千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R元	R2	R3	R4	R5	
収入 計		13,630	14,688	12,207	18,302	17,495	
利用料金収入		156	20	6	1	1	
指定管理料							
その他収入		13,474	14,668	12,201	18,301	17,494	
支出 計		13,630	14,688	12,207	18,302	17,495	
人件費							
光熱水費		893	479	492	638	650	
修繕費		276		310		57	
外部委託費		12,461	14,209	11,405	17,664	16,788	
その他経費							
差 引		0	0	0	0	0	

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点Ⅰ> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

スポーツ利用等によるゆとりのある県民生活の実現のため、安全対策のもと、施設の適正な維持管理に努める。

○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和5年度 の目標	利用者数 8,000人
--------------	-------------

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	実績	15,673	達成率	195.9%	
	具体的な 取組と その効果	男鹿日本海花火の開催や、スポーツイベント等の継続により、令和5年度の利用者数は15,673人と目標を大幅に上回ったことにより、ゆとりある県民生活の実現に寄与した。			
直近3年 の実績	年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標	4,000	8,000	8,000	
	実績	7,537	6,547	16,086	
	達成率	188.4%	81.8%	201.1%	
令和6年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 15,000人			
	設定根拠	引き続き花火大会や各種スポーツイベントを開催することにより、スポーツ・レクリエーションの場として利用増進を図る。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点Ⅰ>の評価

評価 欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	スポーツ・レクリエーション施設として適切な管理を行うことで、イベント等では事故なく、平時利用している県民にも安心して過ごせるよう運営できていると考える。
	県 (所管課)	A	花火大会の開催や、スポーツイベントの実施により、多くの方に利用された。今後もイベントでの活用等により、今後も同程度の利用者数を期待する。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和5年度 の実績	実績	—		
	具体的な 取組と その効果	本施設は港湾緑地であり、体育施設以外は一般開放している施設であるため、アンケート調査等はないが、利用団体への聞き取りを行い、施設管理作業等の参考になっている。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R2年度	R3年度	R4年度	
	—	—	—	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	B	本施設は港湾緑地であり、体育施設以外は一般開放している施設であるため、アンケート調査等はないが、利用団体への聞き取りを行い、施設管理作業等の参考になっている。
	県 (所管課)	B	一般開放している緑地であるため利用者へのアンケート調査等は行っていないが、利用団体に聞き取りを行い参考としていることに加え、利用者から不満の声等も寄せられていないことから、安定した運営が行われていると言える。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: 満足度80%以上 B: A及びC以外 C: 満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1) 経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	経費の 低減実績	昨年度の実績を踏まえ、芝生の適正な管理のための予算は維持しつつ、必要最小限の管理費用で運営を行うことで、昨年度の経費から4%程の削減を行った。
	具体的な 取組と その効果	・芝生管理業務(R4:8,513千円 → R5:7,700千円) ・施設草刈業務(R4:2,465千円 → R4:2,502千円)

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	収入の 増加実績	港湾緑地としては収入増なし。
	具体的な 取組と その効果	利用者が快適に利用できるように適正な維持管理に努めている。

＜観点Ⅲ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	—	芝生の適正な維持管理を見直し、管理費の削減を行った。 燃料費や資材等の高騰する中、必要最低限の経費で運営を行った。
	県 (所管課)	—	収入のほぼ全額が男鹿市の市費であることから本評価はなじまないが、燃料費や人件費が高騰している中、必要な経費を精査し、適切な管理を行っている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

＜観点Ⅳ＞ 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	○安全対策 定期に行っている芝生管理や清掃・草刈業務等の維持管理業務に加え、必要に応じて修繕を行い、利用者が常に安全に利用できる状態を保っている。
--------------	---

＜観点Ⅳ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
	指定管理者	A	実績報告に記載のとおり、施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	A	適切な安全対策のもと、施設の維持管理を適切に行っている。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

県内のプロスポーツチームや地元の学校をはじめ、多くの県民からスポーツやレクリエーションを行う施設として親しまれており、スポーツ等を起点としたゆとりある県民生活の実現に寄与している。

○施設運営の課題

温暖化の影響による高温化による芝生管理費の増加
物価高騰(人件費)による管理費の増加

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

今後もスポーツ団体等の利用が多くなると考えられる。引き続き多くの県民が安全にスポーツやレクリエーションを行える施設として活用できるよう、指定管理者と随時情報交換、作業の機械化の検討などを行いながら、維持管理に努めていく。

【外部有識者委員会による評価(提言):令和 年度実施】

※今年度評価対象施設は、外部有識者委員会終了後、行政経営課が記載の上公表する。

評価(提言)

○施設の管理運営状況について(<観点Ⅰ>～<観点Ⅳ>に対するコメントを記載)

○県の施策達成に向けた施設運営について

(県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方を踏まえてコメントを記載)

【外部有識者委員会による評価(提言)を踏まえた今後の対応方針:令和 年度策定】

今後の対応方針

指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針を記載)

県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針を記載)

【今後の対応方針の進捗状況について】

※今後の対応方針策定済みの施設について、策定翌年度の評価対象年度から記載

今後の対応方針の進捗状況
指定管理者(施設の管理運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)
県所管課(県の施策達成に向けた施設運営等について今後の対応方針に係る進捗状況を記載)